

令和4年度第3回和光市図書館協議会会議要録	
日 時	令和5年2月9日（木） 10時～12時
場 所	和光市図書館 会議室
出席者	（委員長）石川 敬史 （副委員長）星 佳芳
委 員	土井 純子 鈴木 啓修 柳下 和弘 高田 桃子 国岡 晶子 小熊 尋子 星野 裕司 小嶋 里恵
事務局	本館館長 小林 理恵 下新倉分館館長 戸田 直美 主査 橘高 わかな 主査 吉澤 実幸 主任 磯崎 智美 主任 片岡 彩
欠 席	0人
傍聴者	0人
石川委員長	1 議事 (1) 第3次和光市図書館サービス計画について (2) 第4次和光市子ども読書活動推進計画について (3) パブリック・コメントの意見の概要と市の見解（案）について (4) 第2次和光市図書館サービス計画（令和3年度）取組状況及び評価について 2 その他 【事前配付資料】 資料1 第3次和光市図書館サービス計画（案） 資料2 第4次和光市子ども読書活動推進計画（案） 資料3 第2回図書館協議会からパブリックコメントまでの期間における主な変更点等 資料4 パブリック・コメントの意見の概要と市の見解(案) 【当日配付資料】 資料5 和光市図書館サービス計画令和3年度進捗状況 資料6 和光市図書館の多文化サービスについて 資料7 令和3年度 研修実施状況 資料8 答申(案) 【前回配付資料】 第2次和光市図書館サービス計画(令和3年度) 取組状況及び評価表 議事を進行させていただきます委員長の石川です。よろしくお願いいたします。 前回の図書館協議会では第3次和光市図書館サービス計画（案）と第4次和光市子ども読書活動推進計画（案）について、委員の皆様から活発なご意見をいただきありがとうございました。本日も議事内容が盛りだくさんですが、引き続き活発なご意見をお伺いできればと思います。よろしくお願いいたします。 本日、委員総数10名、欠席なしです。 それでは、議事(1) 第3次和光市図書館サービス計画について事務局から説明を

	お願いします。
事務局	資料1 第3次和光市図書館サービス計画（案）、資料3 第2回図書館協議会からパブリックコメントまでの期間における主な変更点等について説明。
石川委員長	第3次和光市図書館サービス計画（案）につきまして、前回も委員の皆様からご指摘をいただきましたが、ご覧いただきお気づきの点がありましたら、お願いいたします。
星副委員長	資料作り等、お疲れ様です。サービス計画のP. 24の「青少年（中高生含む）が本に親しむきっかけづくり」について、さまざまなイベントを企画していただいているということで、大変よいことだと思っております。じっと待っているのは中高生の図書館離れが進む時代になっているので、中学校や高等学校へ何か配布物だったり呼び寄せるための工夫はどのように計画していますか。解説をお願いいたします。
事務局	中高生向けには、現在YA通信と図書館だよりをお届けしております。今後は、SNS等を活用し、呼びかけていきたいと考えています。
星副委員長	通信は、掲示する形ですか。個別に生徒たちに一人一人に配られるタイプのものですか。
事務局	現状は各学校図書館に設置していただいているので、全員配布ではなく20部程度をお届けしています。
星副委員長	図書館に来る生徒さんは本に親しみのある方だと思うので、図書館に来なくても、どこかみんなが必ず通るような掲示板に、もう一枚掲示していただけるとよいのかなと思います。
石川委員長	パブリック・コメントの中で、中高生を来館に結びつけるというご意見もありましたので、関連する内容と存じます。ありがとうございました。
土井委員	用語の解説追加として、りんごの棚など、どこに記載されていますか。
事務局	サービス計画のP. 9に記載しています。
土井委員	ありがとうございます。
国岡委員	サービス計画P. 26の「読み聞かせなどのボランティア支援」についてです。私は、和光市図書館の読み聞かせや乳幼児のボランティア活動を20年近く携わっています。和光市図書館は、質の高いおすすめの本選びや読み聞かせボランティア活

	動など、質の高いサービスを提供していると思います。今日も改めておすすめの本のリストを見たのですが、ロングセラーのとても質の高い、流行り廃りではなく、本当に子どもたちに読んでもらいたい本を、乳幼児から小学校高学年まで本当にいいリストを作っています。ただ、読み聞かせボランティアの方たちに和光市図書館が保っている質を伝える、つまりは読み聞かせボランティアは今は裾野が広がっているために、自分の好きな本を自分流に読んでしまうことがちょっと前に比べて図書館の中でも目に付くようになってきた気がします。以前は、ボランティアの資質向上を目的とした講座が定期的開催され、ボランティアをやる方は講座を受講してくださいという形をとっていました。館長との立ち話で、予算が確保できなくなったと聞いたので、今後どうなっていくのでしょうか。和光市図書館が保ってきた質を、ボランティアにきちんと伝えるために、継続して講座を開催し、事業を担って欲しいです。
事務局	ボランティアに対する講座が開催できていませんでしたので、今後は定期的に行っていけるように努力していきたいと思います。
国岡委員	予算が確保できない事情があるとしたら、協議会の答申として出したほうがよいと思います。
事務局	実際、予算的に難しかったこともあるのですが、講座の重要性を訴え、工夫しながら開催を検討したいと思います。
石川委員長	蔵書、選書の重要性、コレクションの質・継承についてご指摘いただきました。パブリック・コメントにも蔵書数についてご指摘ありましたが、量という視点に限らず、どのような本を選書しているのかということも回答に入れたほうがよいと思います。 コレクションの質、ボランティアの読み聞かせ技術をどう継承していくのかというご指摘でした。蔵書については、現在続けているしっかりとした選書を継承していく、ボランティアについては講座の機会を年1回程度開催するとよいと思います。 新座市では、ボランティア団体との交流会が年1回開催され、同時に研修会も行われていたと記憶しています。
星野委員	サービス計画のP. 13の地図についてですが、例えば第五小の上の大型百貨店がどこを示しているのか、また、第三中の記載がありません。全ての小中学校を記載することは難しいと思いますが、下新倉分館の隣に下新倉小があることは入れたほうがよいのではないのでしょうか。
事務局	見直しさせていただきます。
石川委員長	ご指摘の通り、学校、公民館、図書館、公民館図書室が生活導線の中にどう位置

	付けられているのかが図でわかると思います。
星野委員	このエリアには、図書館や公民館図書室があるということが一目でわかるほうがよいです。
石川委員長	重要なお指摘ありがとうございます。 議事(2) 第4次和光市子ども読書活動推進計画について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2 第4次和光市子ども読書活動推進計画(案)、資料3 第2回図書館協議会からパブリックコメントまでの期間における主な変更点等について説明。
石川委員長	子ども計画P. 42の「(4) 職員のスキルアップと体制づくり」に関連して、12月下旬頃に文部科学省から子供の読書活動推進に関する有識者会議論点まとめが発表されていました。 いくつか柱がある中で、基本方針のひとつとして子どもの視点にたった読書活動の推進があげられています。大人が子どもの読書活動を進めていくというよりも子どもの視点にたった、子どもが主体的に読書活動を行えるように子どもの意見聴取の機会を確保し、取組に反映させるといった、子どもの声を聴いていこうということが有識者会議の論点まとめの中で指摘されています。第4次和光市子ども読書活動推進計画の中にも子どもの声、意見を聴くというような文章や内容を盛り込んでおくのいいと思います。
国岡委員	子ども計画P. 21の◆読む本の選び方の中で、学年別にみると「図書館のおすすめ」「学校図書館のおすすめ」と答えた割合は、小学3年生では「友達にすすめられて」と拮抗しているが、学年が上がるとその比重は下がる傾向にある。一方で、「友達にすすめられて」や「流行っている本」と答える人の割合は学年が上がるに連れて高くなり、本が友人同士を媒介する一つのコミュニケーション要素となり得ることがわかって記載されています。今、本屋に行っても絵本に限らず、児童書の読み物の質が落ちています。 子どもたちに本当にこの本がおもしろいんだよと伝える大人がいなければ、昔からのロングセラーの古典と言われているようなものも含め、手渡す大人がいないとキャッチーな本に手がいつてしまうのは当然です。前回の会議の中で、学校図書館の司書の勤務日数について議論がありましたが、もう少し増やしてもらいます。学校図書館に司書がいて、きちんと本をすすめる環境が必要であることから、資料8 答申(案)にも組み込まれていると思います。切実に学校図書館に司書が必要だと共通理解し、絶対叶えて欲しいです。
石川委員長	子どもの生活や生活動線に本があること、そしてそこにある本が何でもいいのかというそうではなく、子どもたちの生き方を導き感受性を育むような本が周りにあ

土井委員	り、こうした環境を整備すること、働きかけをすることが大人の役割だと思います。それが、学校図書館に配置されている図書館アドバイザーの役割にもなるのではないかと思います。 各小中学校に司書教諭を配置しています。私も資格を所有しており、担当していたこともありましたが、当初の選書にしても、1年間の読書活動の推進や図書館アドバイザーとの連携について担当しますが、普段の授業に加え、タブレットの活用等、色々なものが下りてきているので、図書館アドバイザーと連携をとりながらも、図書館アドバイザーをお願いしていることが現状として多いです。 昔は、毎日図書館アドバイザーが居てくれた時代もありましたが、今は週2回、子ども計画P・34⑤図書館アドバイザー研修の実施にあるように、図書館を中心に研修を実施していただいています。各学校における図書館アドバイザーの多少の温度差、施設設備、蔵書数など異なっていますが、研修会で情報交換をすることで意識が高まっていると思います。図書室では、季節や行事によって、本屋や図書館にも負けないようにおススメの本が入口に目立つように展示されています。図書館アドバイザーからの想いがあり、すぐ手に取れる簡単な魅惑的なものではなく、伝統的な、読み継がれて欲しい本もまとめてあります。そういう環境整備を、図書館アドバイザーをお願いしていることが多いです。図書館アドバイザーの勤務人数が増えることは和光市の予算の問題になると思いますが、そうなるとうれしいです。 子どもたちが本を読むことは、各学校の課題です。本校では、家族読書の日を設定、一切テレビやゲームを見ず、親子で一緒に読んでもいいし、読み合ってもいいし、一年に一度読書週間に実施しています。高学年は普段は読み聞かせはしませんが、やってよかったという意見も上がってきます。この内容を読めるようになって、感動することができたという意見もあります。毎週火曜日は読み聞かせのボランティアをお願いしていますが、高学年からも楽しかったという声を聞くので、ボランティア団体の方たちが活躍されると嬉しいです。今は、子どもたちが忙しすぎて、なかなか本を読む時間がありません。授業のプリントが終わったので、残りの時間は本を読む時間にしようという状況です。外部的に読み聞かせの時間があるから読んで聞いてみようかなとか、図書室に行く時間だよとか図書館にはこんな本があるよとか、働きかけは大いにやっていけないと思います。 新倉小では2年生が下新倉分館に見学に行きますが、その際に利用券を作り、実際に貸出をお願いするので、その見学をきっかけに図書館に行くようになります。図書館に行ってみようとかこの学校でもやっていますが、そういう機会を多くし、全ての子どもに読書の喜びを広めて、伝えられるようになるとよいと思います。
鈴木委員	埼玉県の高校は、1校に1人にフルタイムで司書が配置されています。いないことが想像つかない大事な存在です。司書教諭も配置されていますが、授業で忙しいこともあり、司書に任されています。 今年から来た司書が大変優秀で、職員会議で、検索サイトのパスワードを無くすこと、無人貸出が出来るようにすること、レイアウトを変更するなど、新たな取組

	を提案してくれました。司書の資質が大事だと痛感しています。司書や図書館関係者の取組も大事ですが、より多くの生徒や児童に訴えかけられるかと考えると、例えば校長とかを巻き込むこともいいのではないかと思います。2学期の終業式にあるイタリアの哲学者の本を紹介しました。図書館にもその本を置いてもらったところ、生徒たちから「読みました」と聞いてうれしかったです。全校生徒に働きかける際に、本を紹介することも効果的かなと思いました。より多くの生徒に影響のある人から本を紹介するという事は、悪いことではないと思います。
石川委員長	第4次和光市子ども読書活動推進計画は、和光市図書館だけでなく、市内における本に関連する方々、保育園、市職員、市役所の関連部署、小中高校等もそうですが、市内全体で読書活動を推進していくことがこの計画の重要な点になると思います。多くの人を巻き込んで、進めていくという重要なご指摘だと思います。 議事(3) パブリック・コメントの意見の概要と市の見解(案)について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料4 パブリック・コメントの意見の概要と市の見解(案)について説明。
土井委員	資料4の子ども読書活動推進計画(案)のNo. 1でコロナ禍で自習室が使えなくなった、長期間利用が制限されていたと思いますが、もし現在は自習室としての利用が変更になっているのであれば、それをアピールしていきますとか、いつから利用可能になりますということを盛り込んではいかがでしょうか。文化部の活動拠点として、会議室の貸出とかできますか。
事務局	会議室の貸出はしていませんが、他の図書館によっては中高生に図書館サポーターになってもらったり、図書館の活動に加わるような図書館もあります。
土井委員	中高生へアドバイザー的に何かお手伝いをして、来館のきっかけ作りをしたり、入れる部屋はないですと言い切るのではなく、部屋を準備できるよう検討するというほうが、意見に対する答えになるかと思います。余り細かく回答をすると縛りが出てきてしまう部分もあると思いますので、この意見に対する回答を再検討したほうがよいと思います。
石川委員長	来館のきっかけ作りについて、具体的に書くことは難しいと思いますが、図書館の利活用、可能性を入れるとよいと思います。 図書館が学校との繋がりを作るといいですか、これからの可能性・展望のある文言を入れていただけるとよいと思います。
高田委員	市の考え方がもやっとした回答で全く響きません。資料4の図書館サービス計画(案)のNo. 2の市の考え方が回答になっていないと思います。せっかく意見が出ているのですから、例えば他市ではこういった工夫をしているため、和光市では

石川委員長	こういった取組を検討していきますというように、先ほど石川委員長がおっしゃったような意見を踏まえ、考えていただければと思います。みんな同じパターンの回答だと思います。 例えば、図書館サービス計画（案）のNo. 2の蔵書資料の量もありますが、それにプラスして資料の選書、資料の質という言い方がどうか考えないといけないのですが、現在のしっかりとした選書を持続すること、そして資料と市民を繋いでいく仕掛けづくりが大切だと思います。蔵書の置き場所だけではなく、図書館活動の次に繋がるような内容が記載できるとよいのではと思います。選書や図書館の活動など、蔵書は量だけではないことを回答に含めたほうがよいと思います。 加えて、図書館サービス計画が策定された後、市民の皆さんの声を聴き、一緒に図書館づくりを行える場があるという可能性もお示しできるような考え方を回答できるとよいと思います。 図書館サービス計画（案）のNo. 4のオーディオブックについて、障害者サービスや高齢者サービスに関してサービス計画を策定していますが、やさしい資料なども含め電子書籍の導入と絡めながら検討していくという前向きな文言で伝えなければと思います。 せっかくご意見いただきましたので、計画案を修正し、ぜひ回答を前向きな表現に変えていただけますでしょうか。
事務局	ご意見を踏まえて修正させていただきます。委員の皆様を確認をしていただくお時間がないので、事務局に一任していただければと思います。
石川委員長	議事(4) 第2次和光市図書館サービス計画（令和3年度）取組状況及び評価について委員の皆様とご審議させていただければと思います。
事務局	第2次和光市図書館サービス計画(令和3年度)取組状況及び評価表、資料5 和光市図書館サービス計画令和3年度進捗状況、資料6 和光市図書館の多文化サービスについて、資料7 令和3年度 研修実施状況について説明。
星野委員	基本施策Ⅰ－施策3郷土・行政資料の収集・保存の中で紹介されていましたが、「新倉村に生まれ暮らし」は、父の自伝的なものを聞き取って本にまとめたものです。昭和6年生まれの父から、新倉村がいかに豊かで素晴らしかったものか聞かせてもらい、これは残しておかなければならないということで本にまとめました。今、私たちが和光市に住んでいるという自負というか、先人たちのさまざまな苦勞を聞いたときに、文化が繋がっていると感じました。下新倉分館では、展示や講座を設けていただきました。新倉村、大和町、和光市と繋がっていくのですが、父の話では、この土地がどのように変遷していくのか、地方へ行くと今も全然変わっていない土地などありますが、和光市は移り変わりが激しいので、その激しさに惑わされないように、今生きていく人たちが知ったほうがよいということで書かせていただ

石川委員長	きました。戦時中は軍需産業も盛んで、父の戦争体験も含め、参考になればと思います。 星野委員のお話をお伺いしまして、今を生きる私たちにとって、過去と現在という歴史の連続性、地域の中の歴史が教科書の時代区分とは違った、地域の中で一人ひとりの独自の時代を生き抜いたといえますでしょうか、まさに地域の歴史を残すことはとても重要だと思います。 基本施策Ⅰ 和光市らしさを意識した図書館への評価については、 施策1 図書資料等の収集・保存 概ね適切 施設のキャパシティの問題、蔵書をストックできる場所がないということは評価コメントの中に入れて欲しいです。デジタル資料、電子書籍の導入についても今後検討が必要として、コメントに入れるべき内容だと思います。 施策2 視聴覚資料の充実 適切 いかに紙媒体、コレクション、蔵書と映像・視聴覚資料を繋いでいくのかということが大切なことです。スマホで動画を簡単に視聴できる時代となって、図書館で映像作品に触れる意味を改めて問い直すことが必要で、評価コメントとして入れていただければと思います。 施策3 郷土・行政資料の収集・保存 適切 図書館としてのキャパシティに限界があるため、デジタル資料との結びつきといいますか、行政でも市議会の会議録などデジタル資料としてネットで閲覧できるようになっていますので、紙媒体だけではなくデジタル資料への館内における誘導や結びつき、案内・広報を検討していくことになると思います。 本日の資料、スライドを拝見しまして、図書館活動を担っているスタッフの思いがすごい伝わります。
小熊委員	イベントや講座などの写真を見て、とても面白そうだと思います。司書体験など8名定員のところ94名の応募があると知り、とても需要があるということがわかりました。また、中高生のイベントを考えたのですが、図書館だからPOPづくりとかショートショート書き方講座なども面白いですが、読書習慣のない中高生に足を運んでもらうことを考えると、図書館の本に関わらず、運動や進路を考える年齢でもありますので、さまざまな職種の体験講座と本を絡めたようなことを企画できれば、本が苦手な中高生も興味を持ってくれるのではと感じました。
石川委員長	小説や物語は、同時に何か高校生の将来の生き方に資する参考になる本が多いと思いますので、ぜひ本を結びつける取組があるとよいです。
小嶋委員	施策2 中学生及び高校生へのサービスの充実について、市内の高校から依頼を受けて、保育の授業で読み聞かせの講師として出向していることが、連携が取れてとてもよい形だと思います。和光市の高校が司書や図書館に信頼を置いて授業の一つを任せてもらえてとてもよかったと思います。任せてもらおうということになると、

	質の高いものが提供できるように、読み聞かせをするスタッフの研修や育成をしっかりやってもらいたいです。高校生は、将来について自分の得意なことや、将来を専門的に学ぶことを考えている時期なので、今後、実際に図書館で働いている方のイメージや保育の授業で読み聞かせスキルを生で感じる事が、将来の選択に大事な時期なので、色々な所に出向いて発信する場が増えるといいと思いました。
石川委員長	ボランティアの継承、研修も施策1のコメントに入れると次に繋げていけると思います。
高田委員	計画を元に講座が実際されていることがわかりますが、市民にとってどういうツールを使ってイベントの情報が入るかという、ホームページもあると思いますが、老若男女、広報紙を見るかと思います。文字だけで書いてあるのと、今日見た写真の講座のイメージが全然違います。写真の内容をみると、きめ細かい手作りの素敵なものがたくさんありました。そういった内容をもっと市民に伝えて欲しいです。広報紙で特集ページがありますが、図書館のことを扱ったのが5年前と記憶しています。分館がオープンしたときに紹介されていたので、それ以降、何も図書館に関する特集がなかったように思うので、特集で写真を盛り込んで図書館に足を運んでもらう環境づくりを大々的にしてもらいたいです。和光市の広報紙も写真で訴えるパターンで力を入れているので、こんなにいい写真があるのであれば、毎年宣伝して欲しいです。声の広報のグループをやっているし、私の記憶でいうと図書館の特集は5年前です。
事務局	毎年は難しいのですが、スペースが空いたときだけではなく視覚的にもっと訴えていきたいと思っています。
石川委員長	現在広報紙では、図書館のコーナーはありますか。
事務局	スペースはありますが大分小さいです。
高田委員	イベントが5～6個程度で講座のお知らせだけです。
石川委員長	スペースの兼ね合いもあるかもしれませんが、高田委員ご指摘の通り、様々な活動を視覚的に訴えるために写真を入れたり、同時に特集として「図書館へ行こう」というような記事が掲載されるよいですね。評価のコメントに、広報の充実を入れるといいと思います。
星副委員長	施策2に中学生及び高校生へのサービスの充実に関する評価コメントとして、資料4の数値指標の中で2016年から2021年にかけて全ての項目が改善されているように思います。例えば、1箇月間に読んだ本の冊数が0冊の生徒の割合が37.5%から26%に減少しています。全ての数値が改善されているので、さまざ

石川委員長	まな取組がとても効果を奏していると思いますので、評価コメントに加えるとアピールになるかと思います。 基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館への評価については、 施策1 乳幼児、小学生へのサービスの充実 適切 かなりの活動をされています。委員の皆様のご指摘もありまして、ボランティアに対する研修機会を作るですとか、ボランティアとのネットワークの構築、そして広報を積極的、視覚的に訴える呼びかけが重要ということになると思います。 施策2 中高生及び高校生へのサービスの充実 適切 実際の活動や本を手にする活動にぜひ注力していただきたいです。POPなど様々な作品・成果物が図書館に寄せられると思いますので、それらを図書館として記録を残し、積み重ねを大切に取り組んでいくことも重要だと思います。 施策3 成人へのサービスの充実 適切 数値を見ると達成率が上がっているので評価は分かれるかもしれませんが、なかなか限界もあるかと思いますが、確か以前の協議会においてもビジネス支援サービスの充実についてご意見がありましたので、今後の課題に評価コメントとして入れていただければと思います。 施策4 障害者・高齢者等のサービスの充実 適切 数値目標をみますと、もちろん他の施策もそうですが、コロナ禍ということもあり活動の断絶があったと思います。 施策5 外国人へのサービスの充実 適切 埼玉県立図書館にて資料6のような優れた事例発表をされています。外国人へのサービスは、これから重要になってくると個人的には考えています。やさしい日本語のホームページなど、おはなし会でも、私たちが話す言葉とは人が生きるアイデンティティにもつながりますので、外国にルーツのある方々へのサービスの充実が求められていると思います。
星野委員	基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ-施策5 電子図書館の推進について、和光市図書館は非常によくやっているといます。図書館ではTwitterを利用し、写真付きで情報を頻繁に発信しているので、興味をそそる様な情報発信があつてよいです。フォロワーが307人だったので、市民の数から考えるともう少し増えるとよいです。PRが不足しているのかなと思います。 Twitterには、各種講座の開催予定や事業報告も入っているので、あの情報は有効だと思いますし、評価できる部分だと思います。 生涯学習課では、メールマガジン”なびいネット”を10年以上前から月1回程度発信していますが、それらも登録者がもっと増えればよいと思います。なびいネットとは、図書館だけではなく公民館などの公共施設の情報が網羅されているので、登録者を増やしていけば有効だと思います。 広報紙も有効ですが、色々な制約があると思いますので、フォロワーを増やし、魅力あるものにしていただきたいと思います。十分魅力的ですが、さらなる充実を期

	待しています。
石川委員長	更なる充実ということと、図書館から動き出していくということは大切です。施策5の評価にT w i t t e rやメルマガの有効活用について加えていただければいいと思います。
星副委員長	資料8の答申にも繋がりますけれども、図書館が狭く限界という話がありましたが、基本施策1の施策1図書館資料等の収集・保存について、除籍の資料が適切に行われ、リサイクルもしっかり適切にすすんでいる、今のスペースを十分に活用できていることをアピールすることは大切だと思いますので、こういった点もアピールしてよいと思います。
石川委員長	ご指摘の通り、図書館の蔵書は、新しい本を入れ、古い本を除籍していく、循環が大切だと言われています。和光市図書館においてしっかり管理されているというご指摘をいただきました。
小嶋委員	基本施策Ⅲの2、6に関連してですが、司書資格を保有しているが、司書として現役で働いていない人が多いと思います。私も大学で資格を取得していますが、社会福祉士として障害分野で勤務しています。10年以上前は、大学で教育学、心理学、図書館学を少し学べば実習なく資格が取得できました。現在、教員や福祉で勤務している方など、人と関わる仕事をしている人は司書資格を保有している人が多いのではないかと思います。一方で、司書資格を活かして働こうとなると公務員で採用され、配属されてそこで使えるという感じになるので、直接採用にリンクすることはないので、資格が活かされていない方が多いと思います。例えばですが、YA分野に最先端の知識や経験がある方たちが図書館運営に携わっていないのはもったいないと思います。私はそういった情報を、図書館運営に取り入れられるとよいと思い、公募で応募しました。現状、子どもや人と関わっている仕事をしている方が司書資格を有した上で、何か図書館運営に意見ができるような場があるとよいと思います。 ただ、ボランティアだともったいないので、金銭的なものが発生すると予算の関係もあると思いますが、そういった方がどれくらいいるのかとか、興味がある方を集めて、前向きに関わっていけるような場を作れると図書館のハード面が変わっていくのではないかと思います。
事務局	司書の資格を有している方は沢山いると思いますので、応援団というかボランティアは難しいと思いますが、何かの形で関わっていただけるといいかなと思います。
石川委員長	私が勤務する大学では、毎年70人前後が司書課程を履修し卒業していきますので、本が好きで、本に関わる仕事がしたいという潜在的なニーズがあるのではないかと思います。司書資格をもっている方に何か図書館運営に少しでも携わってもら

	えるような場や機会があると良いと思います。 基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館への評価については、 施策1 公共施設等と連携したサービスの提供 概ね適切 今後も連携をとって進めていってもらいたいこと、そして積み重ねていくことを評価コメントに入れて欲しいです。 施策2 地域、ボランティアとの連携 概ね適切 先ほど話題になりましたボランティアへの研修会の実施も含め評価コメントに入れて欲しいです。 施策3 コミュニティ情報等の収集・整理・保存・発信 適切 数値をみると達成状況がよいので、適切とします。 施策4 図書館施設等の保全 不十分 限られた施設の中で図書館のみなさんは様々な取組・工夫をされていますが、やはり物理的には不十分であると思います。 施策5 電子図書館の推進 概ね適切 先ほどご指摘がありましたが、広報紙も含めT w i t t e rやメルマガなど、図書館からの積極的な情報を発信していくことを重視していくことが大切です。活動をさらに活発にしていくことを評価コメントに入れていただければと思います。ただ、電子書籍が導入されていないので、概ね適切にします。 施策6 図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上 概ね適切 学校図書館に配置されている「図書館アドバイザー」のさらなる充実にも関わりがありますので、協議会としては概ね適切であるとさせていただきます。
事務局	次第2その他について、ご説明させていただきます。本日ご議論いただきました計画につきましては、2月16日（木）の定例教育委員会で議案として提出し、承認いただく予定です。答申の案が資料8にありますのでご議論をお願いいたします。
石川委員長	前回の協議会でもご審議・ご意見をいただき、さらには本日の協議会でも委員の皆様からさまざまなご意見をいただきまして、資料8において、施設の不備、修繕対応、老朽化の危惧を記しています。加えまして、本館の新設、司書の採用、電子書籍の導入等、さらには地域とともに歩む図書館、という図書館のあり方も資料8にて述べさせていただきました。 前回の協議会の議論として、図書館アドバイザーの役割についてもさらに充実すべきであるという内容を入れました。資料8では学校司書といたしましたが、学校図書館法に規定されている学校司書という職名が、望ましいのではないかという意図がありまして、このように記載させていただきました。
星副委員長	皆さんの熱い想いも寄せられ、かなり良い取組も行われて、色々なことが改善されているにも関わらず、私たちの力と、市民の下支えだけではうまくいっていないところも答申に盛り込んで、協議会の意見にしたいと思いご提案させていただきました。蔵書冊数が少なく、十分な広さが必要だとか老朽化の問題だとか

石川委員長	表現したいと思い提案させていただきました。 図書館とは建物ではないこと、市民のみなさんの学びを保障する、単に本を貸出する施設ではなく、社会教育のための機関であり、教育機関として位置づけられているという意図も、地域とともに歩む図書館という内容に、しっかりと記載させていただきました。 本日の審議結果を踏まえ、答申につきましては委員長一任としていただければと思います。 本日の議事を終了とします。
事務局	次回の協議会の日程は、令和5年度を予定しております。以上をもちまして、令和4年度第3回和光市図書館協議会を終了いたします。ありがとうございました。